

科目名	社会科・公民科教育法Ⅱ	
担当者	野浪 俊子 / NONAMI, Toshiko	
科目情報	教職専門科目 / 選択 / 前期 / 講義・演習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	社会科・公民科の指導法について学ぶ。 特に、現行の中学校社会科「公民科的分野」・高等学校公民科（「現代社会」「倫理」「政治・経済」）について、学習指導要領に基づき多面的な教材研究と創意ある実践的授業展開について理解を深め指導技法について学ぶ。
	到達目標	(7) 中学校社会科、高等学校公民科の基本的な性格や指導目標・指導内容を学習指導要領に基づき理解し、多面的な教材研究や具体的場面に即した指導法を考察することができる。 (8) 中学校社会科、高等学校公民科の学習指導要領に基づき創意ある実践的授業展開を構想し学習指導案を立案・作成することができる。 (9) 社会科・公民科における教材分析や学習指導案（授業計画案）に基づき実践的授業展開（模擬授業）を行うことができる。
授業計画	(1) I 実践事例の検討 ①中学校社会科「公民科的分野」 (2) " ②高等学校公民科「現代社会」 (3) " ③高等学校公民科「倫理」 (4) " ④高等学校公民科「政治・経済」 (5) II 中学校社会科「公民科的分野」の教材研究と模擬授業① (6) " 教材研究と模擬授業② (7) " 教材研究と模擬授業③ (8) III 高等学校公民科「現代社会」の教材研究と模擬授業① (9) " 教材研究と模擬授業② (10) " 教材研究と模擬授業③ (11) IV 高等学校公民科「倫理」の教材研究と模擬授業① (12) " の教材研究と模擬授業② (13) V 高等学校公民科「政治・経済」の教材研究と模擬授業① (14) " の教材研究と模擬授業② (15) " の教材研究と模擬授業③	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・使用教材や参考文献に基づき社会科教育法について理解を深めること。 ・新聞記事等の時事問題を活用して社会科教育について省察すること。
使用教材・参考文献	【教】伊東光晴 監修『高校現代社会 新訂版』実教出版 2007年 ISBN 9784407201123 【教】斉藤齋 監修『中学校社会公民』教育出版 2007年 ISBN 4316200828 【教】日本公民教育学会『テキストブック中学校・高等学校 公民教育』第一学習社 2004年 ISBN 9784804075099 【参】柴田義松 編著『社会科・地歴・公民科 教育法』学文社 2009年 ISBN 4762019577	
成績評価方法と基準	<基準> 中学校社会科、高等学校公民科の基本的性格をふまえ具体的授業場面に即した教材研究や指導法を考察することができ、これらのことに基づき学習指導案を作成し、実際に模擬授業を行うことができることを合格の基準とします。 <方法> 学習指導案・レポート(50%)、模擬授業発表(40%)、受講態度(10%)を目安に評価します。	
備考	・「社会科・公民科教育法Ⅰ」を履修した後に履修すること。	